

こうみん未来塾開催



三田が生んだ国際標準 GPS（カーナビ技術）

平成30年1月21日（日）弥生が丘コミセンで、「弥富^{やふう}実行委員会（*1）」主催による「こうみん未来塾」が開催されました。



コミセン大会議室ほぼ満室の、子どもたちから大人まで約40名の参加者は講師の話^{話を}を熱心に聴いていました。

講師は、元三菱電機三田製作所、開発・技術部門に勤務されていた西脇さん（弥生が丘）と矢鍋さん（友が丘）

（*1）＝弥生が丘と富士が丘の協働事業

現在、わたくしたちがあたり前の様に利用しているカーナビや、衛星放送の受信技術にもつながるGPSの開発時の苦労話から現在に至るまでをわかりやすくお話いただきました。

ちなみにナビゲーションの精度は格段な進歩を遂げています。少し前までは「目的地付近に到着しました」から、最近では「目的地に到着しました」と、ナビの音声案内が変わったのは皆さんご存知の通りですね。

今回のこうみん未来塾のテーマである世界初のGPSの開発や、日本初のビールの製造等、私たちの住むこの三田から素晴らしい技術が生まれたことは大いに誇りにできることです。

「こうみん未来塾」に参加の子どもたちから将来、日本や世界をあっと言わせる三田発の何か^{何かが}が生まれるといいですね。



講師からのメッセージ

- ★一生懸命取り組んだことに失敗はない
- ★学びの蓄積が大切

